

平成 29 年度 第 1 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 29 年 5 月 25 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担当副会長：小渡佳代子 委員長：折笠幸男 副委員長：梅原義信 菅沼浩一 委員：山口英生 磯昭弘 菅原浩太 ×小泉学 ×湯浅範人 鈴木章一郎 ×瀬戸裕正 事務局：小林恵美		
1. 小渡副会長挨拶 2. 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会（日事連）実施について 法定講習と間違われやすい、ブロック支部委員会で開催している「新規開設講習」と内容が重なってくる等の理由から、今年度も開催しない事となった。 →事務局より日事連にその旨の回答をする事となった。 3. 防火設備定期検査業務基準および実務講習会の実施について 実施の有無等は、新委員会にて検討する事となった。 4. 平成 29 年度 新体制について 5 月 16 日開催の理事会に提出された、組織運営図（案）の説明が小渡副会長よりあった。 新体制になっても、継続が必要な事業（JAAF-MST 講習会、バス見学会等）は、引き続き行っていく必要がある。 5. 折笠委員長挨拶 次回委員会（引き継ぎ） 6 月 16 日（金）～7 月 13 日（木）に開催する 以上			

開催日時 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室

○	大和田 優	○	山口 英生	○	稲毛 恒男	○	中村 輝守	○	磯 昭弘	×	當木 裕之
○	岩田 崇	×	石渡 規由	○	菅原 浩太	○	矢野 高	×	伊藤 耕人	○	鈴木章一郎
×	瀬戸 裕正	×	永島 優子	○	小山美智恵	○	青木 建	○	宮寺 透雄	○	近藤 敦司
○	小林 幸一	○	横山 尊重	×	早川 慶太	○	米村 和夫	○	高野 淳一	×	大西 智子
(事務局) 小林恵美 久保田千尋											

1、挨拶

大和田副会長挨拶
山口委員長挨拶・議事進行
委員自己紹介

2. 議題

1) 名簿の確認

各自確認していただき、修正等があれば事務局までご連絡いただく事となった。

2) 事業内容等の検討

大和田副会長より、委員会・専門委員会・部会事業について説明があった。

(1) 企画委員会

- ・常設委員会および専門委員会の主催講習会等の開催日時の調整および割振り。
- ・企画委員会内の各専門委員会の活動内容の調整 (人員調整を含む)
- ・JAAF-MST および三会建築士 CPD 会議等の対応 (事務的手続きは事務局で対応する)
- ・年 1 回行うバス見学会の企画 (運営は他委員会等と協議のうえ他委員会が担うこととする。)

(2) 技術専門委員会 (低炭素技術部会・設計新技術部会・補助金活用技術部会)

3 部会は同一日時会場で開催し、技術専門委員会は部会の前に行う。

①低炭素技術部会

環境省エネ技術に係る調査研究及び講習会の企画運営その他を行う。

今期は ZEH 神事協モデルを作成し、課題の洗い出し・解決方法等を整理の上勉強会を企画運営する。

②設計新技術部会

最新の設計技術に係る調査研究及び講習会の企画運営その他を行う。

今期は中小設計事務所における BIM・スケッチアップ・VR 等の活用方法の調査研究を行う。

③補助金活用技術部会

各種補助金の資料収集、補助金を活用した営業手法の研究および講習会の企画運営を行う。

地域型住宅グリーン化事業に係る「かながわ e 家」会の運営を行う。(平成 29 年度申請は、施工 5 事務所・設計 6 事務所。8 月に採択の結果が出る。)

(3) 「未来に繋げる事業検討」専門委員会

中長期的に、会員の為になる事を検討していく。まず、ホームページリニューアルを行う。

- ・会員増強のための神事協の企画および中長期の目標設定等を行い、レポートを作成のうえ総財務委員会へ提案する。
- ・協会ホームページの新コンテンツの企画立案 (作成・改良等は外部委託) を行い、レポートを作成のうえ広報情報委員会へ提案する。
- ・支部及びブロックの活性化のための新事業及び講習会等の企画を行い、レポートを作成のうえブロック支部委員会へ提案する。
- ・その他、神事協の組織強化に係る提言等を行う。

(4) 応急仮設住宅等検討専門委員会

- ・応急仮設住宅配置計画 (例) などの受託業務を進行するために必要な活動を行う。
→今年度は一般競争入札 (8 月) となった。落札した場合、10 月の契約となる予定。

- ・神奈川県災害協定4団体との連携に係る活動を行う。
→支部ごとに行政と締結している内容が違っているので、今後検討が必要となる。
- ・行政向け講習会の企画運営、応急仮設住宅の調査研究および提案を行う。
- ・支部事業の受託に係る諸問題の調査研究および事業手法の提案を行う。

3) 今後のスケジュールについて確認

3. 各専門委員会に分かれ検討を行った。

以上

平成 29 年度 第 3 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 29 年 9 月 21 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：大和田優 委 員 長：山口英生 副 委 員 長：×稲毛恒男 中村輝守 委 員：磯昭弘 當木裕之 岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：矢野高 ×伊藤耕人 鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：小林恵美		
1. 副会長挨拶 2. 理事会報告 9 月 15 日の理事会にて、竹縄光生氏が企画委員として承認されたとの報告があった。 3. 議題 1) 企画員会内専門委員会及び部会の活動内容について (1) 12 月 15 日の統括委員長会（専門委員会含む）にて、中間報告をする。 (2) 技術専門委員会（低炭素技術部会・設計新技術部会・補助金活用技術部会）活動報告 ・3 部会それぞれ情報共有をしている。 ・前回の委員会（8/28）に、賛助会から 6 社がオブザーバーとして出席した。 ・次回委員会で、2 社（福井コンピュータアーキテクト(株)と YKK AP）がプレゼン予定。 ・引き続き、賛助会よりオブザーバーを募っている。 ・平成 29 年度地域型住宅グリーン化事業において、グループ「かながわ e 家（かながわいいいえ）」会が、8 月 29 日に採択された。 (3) 「未来に繋げる事業検討」専門委員会 活動報告 ・現状を把握する事が必要との事から、会員に向けてアンケートを実施する。 ・アンケート回収率、50%以上を目標とする。 →委員から支部・個人的に回答を働きかける。 ・賛助会とのコミュニケーションを取り、必要な技術情報提供を受け、又賛助会員増強にもつなげる。 (4) 応急仮設住宅等検討専門委員会 活動報告 ・「応急仮設住宅配置計画（例）」が、9 月に受託が決定した。（今年度は入札） →9 月 27 日に県との打ち合わせがあり（大和田副会長・磯専門委員長・事務局担当者が出席予定）、詳細がわかる。その後、委員会を開催し詳細を決める。 ・10 月 16 日に、行政向け応急仮設住宅の講習会を開催する。 ・今年度は、「コミュニティを考慮した応急仮設住宅調査等」をマニュアルに盛り込む事となっている為、業務内容は増加している。 ・現在の 6 名の委員では人員が足りなくなるので、企画委員会としても携わっていく。 →過去にやったことがある人・40 周年記念事業でコミュニティを考慮したものを出した方にも声をかけてはどうかとの意見が出た。 2) （日事連）管理研修会開催についての検討 開催する事を前提に検討したが、下記の理由から今年度は開催を見送る事とし、来年度又検討する事となった。 ・法定講習と誤解されやすい。 ・受講者が集まらない事が懸念され、収支が取れないのではないかな。 ・神奈川県の後援も難しい。 ・講習内容が、神事協で開催している新規講習と被る部分がある。 ・今年度は、新体制が始まったばかりなので、動きづらいのではないかな。 3) 平成 29 年度 事業について （1）JAAF・MST 講習会について 現在、受講者のみに配布している解除キーを神事協ホームページの会員ページに掲載し、会員がフリーで取得できるようにする。質問状も同時に掲載し、質問が集まり次第講習会を開催すればどうかとの意見が出た。 →次回委員会にて検討する事となった。			

→前年度まで講師を担当していただいていた菅原委員にも意見を伺う。

(2) バス見学会について

他委員会からバス見学会の企画を 10 月末締切にて募集する事となった。

→企画委員長より、各委員長に文書を出す。(事務局にて(案)を作成する事となった。)

4) 平成 30 年度予算・事業計画について

(1) 予算について(提出締切 11 月 24 日)

CPD プログラム認定費用・業務報酬算定ソフト維持費を、企画委員会から支出するべきではないのではとの意見が出た事から、統括委員長会にて確認する事となった。

(2) 事業計画について

各専門委員会事業のボリュームを考慮し、検討する事とする。

5) 次回日程については、10 月第 4 週～11 月第 3 週の間で調整し決める事となった。

(「調整くん」に各自入力にて調整)

以上

平成 29 年度 第 4 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 29 年 11 月 2 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：大和田優 委 員 長：山口英生 副 委 員 長：×稲毛恒男 中村輝守 委 員：磯昭弘 當木裕之 岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：矢野高 ×伊藤耕人 鈴木章一郎 竹縄光生 事 務 局：小林恵美		
1. 副会長挨拶 2. 統括委員長会（10/27 開催）報告 ・委員会活動報告会が、12 月 15 日（金）14：45～17：30 に開催される。 常設委員会持ち時間：3 分、専門委員会持ち時間：10 分。 報告方法は、形式自由。 但し、スクリーンに映すため、データ化する。 各委員長及び部会長が説明する。（委員長及び部会長が出席できない場合代理を立てる） 委員の出席は自由。 ・企画委員会で予算計上されていた CPD プログラム認定費用と業務報酬算定ソフト維持費は、総財務委員会で持つ事となった。 3. 議題 1) 企画委員会内専門委員会及び部会の活動内容について (1) 未来に繋げる事業専門委員会 ・会員に向けたアンケートの内容が決定し了承も得た。 ・支部長から、配布してもらい支部単位で回収してもらう。 ・回収率 50%以上を目標としているので、委員の方々も回答及び周知に協力してもらいたい。 ・11 月末を締切りとし、12 月 15 日の報告会で集計した結果を発表する。 (2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 ・委員が 2 人増員する事となった。（横浜支部：小渡氏、藤井氏） ・県との委託業務について、配置計画例作成業務の他に『配置計画における配慮事項等のあり方の検討（コミュニティを配慮）』が追加された。（9/27 県との打合せにて説明を受けた） ・『配置計画における配慮事項等のあり方の検討（コミュニティを配慮）』について、現在専門委員会内で資料文献等を出し合っている（OneDrive へ各自作成したファイルをアップロード）。内容を検討・抽出・分析する事になるが、企画委員にも協力を仰ぎたい。 →ファイルアップロード先の URL（OneDrive）を企画委員にメールで配信し、内容を確認する事となった。※県との委託業務の為、企画委員以外に URL をお教えする事はお控え下さい。 ・災害時住宅対策検討部会（10/16 開催）に大和田担当副会長、磯委員長が出席した。 ・『応急仮設配置計画案作成』は、担当者が調査日に現地調査を行った。 (3) 技術専門委員会 ・YKK AP 体感ショールームを見学会を 10/13 日に開催した。委員及び賛助会オブザーバー 8 名が参加。 ・見学会は、今の売れ筋・情報がわかり、価値があるものだった。 →見学会の感想を付け、ブロック支部委員会に研修会の開催等を提案してはとの意見があった。 ・今後も委員会内で、オブザーバーのプレゼンテーションを開催する予定。 ・賛助会からも接点を持ってほしいとの要望がある事から、プレゼンテーションを受けた感想等を付けて支部に研修会の提案をしてはどうかとの意見があった。 2) JAAF・MST の取扱いについて 解除キーの公開について、神事協ホームページ（会員ページ）に掲載し、内容について質問を受け、その内容から講習会を開催する案を、統括委員長会に諮った。 →統括委員長会で異論はなかった。企画委員会で前年度まで講師を担当していただいていた菅原委員にも意見を伺ってから、今後の取扱いを決める事となった。			

3) バス見学会について

- ・ 10 月末締切で募集していた他委員会からの応募はなかったと報告があった。
- ・ 今年度、企画委員会主催での開催は見送る事となり、今年度は来年度の方向性（目的等）を決める事となった。
- ・ 旅行業法に抵触する事から、会員外の参加は出来なくなった。
- ・ 賛助会員が企画し、バス手配・周知等は委員会で行う事とする案が出た。

4) 平成 30 年度予算・事業計画について

(1) 予算について

企画委員会は、従来の予算書が当てはまらない事から、11 月 17 日(金)に開催される正副会長会議にて、大和田副会長から内容について打診していただく事となった。

(2) 事業計画について

12 月 15 日に開催される委員会活動報告会の内容を提出する事となった。

→事業計画を各専門委員会（委員長）より、12 月 8 日（金）までに提出。（事務局に送付）

5) その他

企画委員会及び傘下専門委員会・部会 合同忘年会を開催する事となった。

→”調整くん”にて、12/4～12/8（12/7 除く）で日程調整を行う。時間は 18：00～。

“調整くん”は、山口委員長に作成いただき、事務局にて企画委員及び傘下専門委員・部会員にメールで配信する。場所等の手配は事務局にて行う。

以上

平成 29 年度 第 5 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 1 月 25 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：×大和田優 委 員 長：山口英生 副 委 員 長：稲毛恒男 中村輝守 委 員：磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：矢野高 ×伊藤耕人 ×鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：小林恵美		
1. 山口委員長挨拶 2. 『統括委員長会 及び 委員会活動報告会』 報告 12 月 15 日に開催された統括委員長会 及び 委員会活動報告会 の報告があった。 ・支部長が出席してもよかったのではないかと意見が出た。 3. 企画委員会内専門委員会及び部会の活動について 1) 未来に繋げる事業専門委員会 ・会員に向けたアンケートを、委員に振り分け集計作業中。(1 月末まで) ・集計結果をビックデータとして今後分析し、次回の委員会活動報告会にて結果を提出する。 ・広報「KANAGAWA」に状況報告を連載する予定。 2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 ・仮設住宅配置計画(案)について 県内 6 ヶ所を担当者に分かれて作成している。 1 月 15 日に計画案を県に提出し、現在チェックバック待ち。 ・『配置計画における配慮事項のあり方の検討』について 具体的な成果物の提出方法等を 1 月 30 日に県と打ち合わせをする。 ・来年度について 8 月頃に受託できるか決まる為、それまではマニュアルの整備を予定している。 3) 技術専門委員会 ・賛助会員で低炭素に関連している業者を集め、『低炭素フェア(仮称)』(勉強会)を開く事を検討している。まずは、支部単位で始めてはどうかとの意見が出ている。 ・1 月 29 日に横浜菱住(株)の仕切りで、三菱大船研究所「ENEDIA ハウス」見学会を開催する。 →支部、会員向けに繋げていく事を検討している。 ・現在 3 部会に分かれているが、分ける必要が有るかも検討していく。 4. JAAF-MST の取扱いについて 解除キーを会員に公開する方向で進めていくが、企画委員会で前年度まで講師を担当していただいた菅原委員に意見を伺ってから、今後の取扱いを決める事となった。 5. バス見学会 来年度の方向性(目的等)について 前年度まで行っていたバス見学会が好評な事から、引き続き行っていきたいが、旅行業法に抵触する可能性がある事から法定範囲内でどこまで出来るのかを、事務局にて調査する事となった。 6. 平成 29 年度 神奈川県建築会議 委員について 神事協から推薦している委員の状態が不明な事から、事務局にて確認する事となった。(企画委員会からは企画委員と CPD 委員を選出) →1/26 事務局確認 企画委員：岩田委員・菅原委員 CPD 委員：稲毛副委員長・鈴木委員 次回委員会：3 月 15 日(木) 13:00 ～ 15:00 神事協会議室			

以上

平成 29・30 年度 第 6 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 3 月 15 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：×大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：○磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：矢野高 ×伊藤耕人 ○鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：小林恵美		
1. 山口委員長挨拶			
2. 2/16 開催「統括委員長会」報告			
・予算案の報告があり、会長より黒字予算の目途はついたと話があった。			
・12/15 委員会活動報告の総括			
→他委員会で似たような事業が多い事から、横の繋がりが大事なのではないか。 (業務支援委員会より、補助金活用事業でタイアップしたいとの話がある)			
・次回の「委員会活動報告」は 6/1 総会時。			
→バス見学会、JAAF-MST の方向性を報告する。			
3. 議題			
1) 企画委員会内専門委員会及び部会の活動内容について			
(1) 技術専門委員会			
平成 30 年 1 月 29 日に開催された、三菱電機住環境研究開発センター見学会の報告があった。 本日 (3/15) に開催される委員会では、ERI(株)がプレゼンをする。			
(2) 応急仮設住宅等検討専門委員会			
応急仮設住宅配置計画 (案) について、県よりチェックバックがあったものの修正計画案をまとめ再提出済み。3/20 納期。仮提出済み状態。			
(3) 未来に繋げる事業専門委員会			
神事協会員への基礎アンケートに関して、データが出そろい報告書を分析、意見交換を行った。 今後、基礎アンケートのデータを拾い出し方向性、ストーリー作りを行う。			
2) JAAF-MST の取扱いについて			
(1) 日事連のワーキングに山口委員長が出席をした事の報告があった。			
機能的に進んでいく事はないと感じた。パスワードを解放するのは難しいと感じた。			
(2) JAAF-MST について			
個人事務所等、少人数の事務所では使えるが、積算部署があるような事務所では必要ない。			
(3) 今後の報告性について (平成 31 年度に向けて)			
ブロック支部が開催している「新規講習」内 15 分程の時間をもらい、アピールしていく。 →入会のきっかけにもなる。			
30 年度は、新規講習の際にチラシを配布する。			
3) バス見学会の今後の方向性について			
(1) 旅行業法上の取扱いについて			
事務局にて、3 月 7 日に観光庁産業政策担当参事官室に電話で確認したところ、 「募集を会員のみによれば、不特定多数の募集にあてはまらないので可能。(宿泊を伴うものであっても同様) 黒字が出たとしても問題はない。一般の募集をかけるのは旅行業法が適用される。」との返答が出た。 →会員限定で開催する事には問題がない。			
(2) 平成 31 年度の方向性について			
会員の興味がある、メーカー (賛助会) の見学会ツアーを計画する方向で進めていく。 (技術専門委員会のオブザーバー賛助会等)			
4) 「建築基準法改正」に伴う講習会開催について			
開催する。時期・内容等は詳細が決まり次第決定する。			
次回委員会 平成 30 年 5 月 7 日 (月) 15:00 ～ 神事協会議室 (参考: 技術専門委員会 13:00 ～)			
以上			

平成 29・30 年度 第 7 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 5 月 7 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：○大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：×磯昭弘 ×當木裕之 ○岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：○矢野高 ○伊藤耕人 ○鈴木章一郎 ○竹縄光生 オブザーバー：○横山尊重 事 務 局：○小林恵美		
1. 大和田副会長より挨拶 2. 4/20 「統括委員長会」報告 ・6/1 総会時に委員会活動報告会が開催される。企画委員会では『未来に繋げる事業専門委員会』がアンケート集計結果を報告する事となっている。 3. 議題 1) 企画委員会内専門委員会の活動内容について (1) 技術専門委員会『5/7 開催 賛助会オブザーバーによる「BELS 制度 ZEH・補助金事業説明会」について』 ・本会（支部・ブロック）向けに受講料無料・会場費のみ負担で開催する事を計画している。 ・賛助会オブザーバー5 社が総会時に開催される賛助会フェアに、説明会周知の為『技術専門委員会オブザーバー』として出展する。 ・現在省エネをテーマとしているが、テーマを変えて開催する事も検討している。その際はテーマに沿った業務内容の賛助会に説明してもらう。 ・統括委員長会（6/22）・ブロック支部委員会・業務支援委員会に説明会開催の提案をする。 ・説明会を受講した企画委員より、下記の意見が出た。 関連付いていて、わかり易かった。 プロジェクターに映すには、簡略化した方がよかったのでは。 プロに向けての説明となっていたが、もう少しみ砕いた説明でもよかったのでは。 最初に概略を説明した方がよかったのでは。（次第は必要） (2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 ・応急仮設住宅配置計画（案）について、県の検査済み。30 年度は、7 月以降となる予定。 ・応急仮設コミュニティについて、関係団体及び県との意見交換会を 6 月 15 日に開催する。 (3) 未来に繋げる事業専門委員会 現在、アンケートのデータ分析を行っている。30・40 代の回答に絞り、方向性や意見を纏めている。 →結果データを企画委員会に提出し、どのように生かしていくかを検討する。 2) 「建築基準法改正」に伴う講習会開催について（企画委員会・指導委員会主催） ・6/20（水）情報文化センター情文ホール、7/3（火）ユニコムプラザさがみはらで開催。 ※両日とも 13：30 ～ 16：45 講習予定 ・講師：神奈川県建築指導課 賛助会確認検査機関（日本 ERI・湘南建築センター・ユティアイ・神奈川県建築安全協会） ・6 月の会報に開催案内を同封する予定。 3) JAAF-MST の取扱いについて ・今年度は、ブロック支部委員会が開催している「新規講習」の意見交換会にて受講者に入会メリットとして、周知する。（5/23 講習会に山口委員長出席） ・今年度のバージョンアップはないが、来年度以降の予定はある。 ・講習会を受講しなくても、会員にキーを配布できるのかを事務局にて確認する事となった。 →会員であれば講習会を受講しなくても、配布できる事を確認。			

4) バス見学会について

- ・平成 31 年度は、会員間のコミュニケーションも目的とし会員限定で開催する。
- ・閑散期（バスが安い時期）をバス会社に確認し、その時期に開催する。
- ・バス見学会とは別に、賛助会員主催の見学会・講習会の企画を賛助会定例会等で募集する。（今年度から開催可能）

5) 防火設備定期検査業務基準及び特定建築物定期調査業務基準に関する講習会の開催について

①防火設備定期検査実務講習会 （半日） ②特定建築物定期調査実務講習会（半日）

- ・①を 2 回、②を 2 回 開催する事とする。
- ・受講者には受講証明書を発行する。
- ・受講者は現在神事協ホームページに掲載している「建築物等の定期調査業務実施登録事務所名簿」に追加掲載する。
- ・開催は 9 月以降とし、次回委員会にて詳細を決定する。

6) その他

補助金制度一覧表を作るように統括委員長会等で依頼があったが、最新情報等を掲載する事は困難である事・多岐にわたり過ぎており選別が困難である事を、統括委員長会等で返答する事とした。

次回委員会 平成 30 年 7 月 2 日（月）15：00 ～ 神事協会議室（参考：技術専門委員会 13：00 ～）

以上

平成 29・30 年度 第 8 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 7 月 2 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：○大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：×稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：○磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ○石渡規由 ×菅原浩太 委 員：○矢野高 ○伊藤耕人 ○鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：○小林恵美		
1. 大和田副会長より挨拶 2. 6/1「総会中間報告会」・6/22「統括委員長会」報告 ・「総会中間報告会」は、方法・内容共に大変好評だった。 ・12 月に会場を借りて、「委員会報告会」を開催する予定。 →9 月の統括委員長会にて、担当委員会を決める。 ・6/22「統括委員長会」で、企画委員会及び傘下の専門委員会の活動報告を行った。 ・会長より組織改革の案が出ているので、今後見直される方向。 3. 議題 1) 企画委員会内専門委員会の活動内容について (1) 技術専門委員会 ・「BELS 制度 ZEH・補助金事業説明会」を支部・ブロック向けに開催する事は存続させる。 ・今後のテーマを検討していく。 (2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 ・応急仮設住宅配置計画(案)について、現在見積を提出している状態。 ・8 月に開催される「神奈川県災害時住宅対策検討部会」に、委員が出席する予定。 (3) 未来に繋げる事業専門委員会 ・アンケートにおいて、30・40 代を中心とした結果は出ているので、その他をどう活かしていくか検討していく。 ・今後、同好会・サークル等の規約を作成する。 2) 「建築基準法改正」講習会について ・6/20 (情報文化センター情文ホール) の講習会受講者数は、58 名。 →同内容の無料講習会が、民間確認検査機関によって直前に開催された事、周知期間が短かった事等から、参加人数が少なかった。また、企画委員会主催だったが、委員長のみの参加となった。次回から委員会での主催委員会としての意識共有を図っていきたい。 ・7/3 (ユニコムプラザさがみはら) の申込者数は、68 名。 委員の受講者の集合時間は 12 時 45 分。受付・会場設置等を行う。 3) JAAF-MST の取扱いについて ・JAAFF-MST 単独の講習会の開催はしない事とする。 ・新規講習会での PR を存続させる。(8/28 講習会 磯委員担当) ・今後の解除キーの配布方法 HP (会員ページ) に『今までは講習会受講者のみに配布しておりましたが、今後は希望者に配布する事となりました。希望者は事務局までご連絡ください。』と記載し、対応する事となった。 4) 茅ヶ崎寒川支部 検討依頼「開東閣とキリスト品川教会の見学会実施」について 事務局より、開東閣の見学が可能か確認したが、紹介等があっても一切受け付けていないとの返答があった為、開催は不可能。その旨、茅ヶ崎寒川支部に返答する事となった。 5) バス見学会について 来年 (2 月～3 月又は 6 月予定) のバス見学会について、下記①～③のテーマで、会員から投票してもらう事となった。事務局にてアンケートのたたき台を作成し、委員にメールで送付し加筆修正後、会員メーリングにて送付する事となった。 →アンケートの締め切りは、7 月末とし、9 月の委員会にて具体的に検討する。 テーマ ①住民参加型建築 DIY ～小さいものから大きなものまで～			

②CLT や話題の建築 ～技術革新を反映させた建築～

③有名建築家シリーズ ～住宅から公共施設まで～

- 6) 防火設備定期検査業務基準及び特定建築物定期調査業務基準に関する講習会の開催について
講習会で使用する日本建築防災協会作成の DVD が 9 月上旬に出来上がる事を日事連に確認した。
次回委員会にて、DVD を確認し詳細を決める事となった。
- 7) 平成 30 年度「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」開催について
法定講習と間違われやすい、ブロック支部委員会で開催している「新規開設講習」と内容が重なってくる
等の理由から、今年度も開催しない事となった。
→事務局より日事連にその旨の回答をする事となった。

次回委員会 平成 30 年 9 月 10 日 (月) 15 : 00 ～ 神事協会議室

以上

[illegible]

(2) 特定建築物定期調査実務講習会

- ・ 11 月 6 日 (火) (現時点 企画委員受講者 : 山口委員長・中村副委員長)
- ・ 11 月 15 日 (木) (現時点 企画委員受講者 : 大和田副会長)

次回委員会

平成 30 年 11 月 12 日 (月) 13:00 ～ 神事協会議室 ※15:30 ～ BIM 講習会 (技術専門委員会)

以上

平成 29・30 年度 第 10 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 11 月 12 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：×大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：○磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：○矢野高 ○伊藤耕人 ○鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：○小林恵美		
1. 山口委員長より挨拶 2. 10/19「統括委員長会」報告 ・12 月 21 日に開催される委員会成果報告会では、広報情報委員会・指導委員会・青年交流専門委員会・景観まちづくり専門委員会の 4 委員会が報告する事となった。企画委員会は報告書を提出する。 ・次回総会での承認に向けて組織改編がすすんでいるとの説明があった。 3. 議題 1) 企画委員会内専門委員会の活動内容について (1) 技術専門委員会 ・BIM の勉強会は、継続的に行う予定。 →福井コンピュータアーキテクト (株) とグラフィソフトジャパン (株) で 2 回ずつ開催。 ※BIM ソフトそれぞれの特徴等の説明が伊藤委員よりあった。 ・県央ブロックで開催予定の ZEH 講習会は延期になった。 ・ZEH 講習会についても、継続的に行う必要がある。 ・予算については、今回無料で行っている BIM 勉強会について、抑えた金額でも徴収する方向。 他は会議費等。 (2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 ・11 月 29 日に開催される県の災害部会研修・訓練が終わり次第、報告書を作成・提出し、事業完了となる。 ・災害部会研修・訓練内のワークショップでは、コミュニティを検討した配置計画を行う。 ・予算については、委託費内で行い委託費の 10%を経費とし神事協に入れる。 (3) 未来に繋げる事業専門委員会 ・アンケートは終結。 ・クラブ活動組織作りに向けて、動いている。 →他組織、他会を参考に情報を集めている。 ・予算については、昨年度と同じく事業は行わない。 2) 3/1 開催 バス見学会について 見学場所について、概ね下記に決まった。 午前中：木材会館 (東京都江東区新木場) ※解説者が見学に同行。また、設計者の日建設計の方に解説してもらうため、現在交渉している。 午後：①猿楽十方楼 (東京都渋谷区猿楽町) ※設計者 平井政俊 ②ブリリアランニングスタジアム (東京都江東区豊洲) 3) 平成 31 年度予算・事業計画について ・バス見学会事業を入れる事とした。 ・各専門委員会で予算を組み、計上する。			

- ・受講者数の報告があった

11/7 // 22名

11/15 " 16名

以上

平成 29・30 年度 第 11 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 12 月 10 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：○大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：○磯昭弘 ×當木裕之 ○岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：○矢野高 ○伊藤耕人 ○鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：○小林恵美		
1. 大和田副会長より挨拶 2. 理事会報告・12/21 開催委員会成果報告会について 1) 11/16「理事会」報告 - 各支部の仕事展の日程が出された。他支部での動き等がわかる機会なので是非行ってみては、との話があった。 各支部日程： 藤沢支部 2 月 9 日 (土)・10 日 横浜支部 2 月 11 日 (月・祝)～2 月 17 日 (日) 県西支部 3 月 16 日 (土) 大和綾瀬支部 3 月 16 日 (土)・17 日 (日) 「住・緑・家」の委員を募集している。各ブロック・支部で周知してもらいたい、との話があった。 - 会長が日事連常任理事に就いている。日事連の会議等の出席数が多い為、支部等に顔を出せない事もある事をご理解いただきたいとの話があった。 2) 12/21 開催 委員会成果報告会について 提出する報告書に関して、以下とする事となった。(報告書提出期限 12/14) - 講習会・勉強会の受講者数を記載し、予定より受講者が多かった事を記載する。 - バス見学会の事も、告知的に記載する。 - 専門委員会の部分は、各専門委員長が加筆(写真等活用)作成する。 3. 議題 1) 平成 31 年度予算・事業計画について 予算要求案を総財務委員会に提出した事が報告された。 - バス見学会開催(1 回)を予算計上。 - JAAF-MST のバージョンアップが予定されている事から、JAAF-MST の講習会開催を予算計上。 - 今年度は無料で開催した BIM の講習会は、有料の講習会としての開催を予算計上。 2) 企画委員会内専門委員会の活動内容について (1) 応急仮設住宅等検討専門委員会 11 月 29 日に、県の災害部会研修・訓練を行った。 行政担当者を対象としたワークショップを行い、従来のマニュアルの入居世帯数のみを考慮した応急仮設住宅と、コミュニティを考慮した応急仮設住宅の配置計画を行った。結果、設置数が大差ない事がわかった。 県からも好評を得ている。 今後は、行政からアンケートをとり報告書をまとめ提出する事となる。 (2) 技術専門委員会 BIM の勉強会は、継続的に行う。 来年度は有料で勉強会を行い、内容をソフトの PR ではなく、建築士事務所(会員)が知りたい情報にしていきたい。 BIM の導入に関して、神事協会員価格等が設定できるように働きかけていきたい。 (3) 未来に繋げる事業専門委員会 アンケートは毎年行う予定だったが、組織改編も行われる事から今年はなしとなった。 クラブ活動設置を具体的に進めて行っている。規約作成や、アンケートを行い新年度にはクラブが出来るように動いている。			

3) 3/1 開催 バス見学会について

(1) 見学場所

午前：東京都江東区有明の『有明体操競技場』（オリンピック会場・清水建設 施工中）の見学を交渉中。2 週間程で可否の返答がくる。

見学不可だった場合は、東京都江東区新木場の木材会館とする。

午後：東京都猿樂町『猿樂十方楼』。13 時 30 分から、1 回 12、3 人程で見学。

- ・設計者 平井政俊氏の説明解説があり、資料も作成していただく。
- ・平井政俊氏に資料作成費として 24,000 円程度支払う。(600 円×40 人)
- ・4 グループに分け、企画委員が各グループリーダーとなる。
- ・『猿樂十方楼』見学時間以外は、グループごとに近隣の下記の 3 箇所からピックアップし、見学等する。

①MONKEY CAFÉ D.K.Y (設計 中村拓志氏・木造のカフェ、ギャラリー、オフィスの複合用途ビル)

②”sarugaku” (設計 平田晃久氏・商業施設)

③旧朝倉家住宅 (重要文化財)

(2) 集合解散場所・時間

横浜駅西口天理ビル前 8:15 集合 8:30 出発 17:00 解散 (予定)

(3) 昼食

崎陽軒 焼売弁当を朝バスに乗り込む際にお渡しする。

次回委員会

平成 31 年 2 月 7 日 (木) 15:00 ～ 神事協会議室

以上

平成 29・30 年度 第 12 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 31 年 2 月 7 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：×大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ×中村輝守 委 員：×磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：×矢野高 ○伊藤耕人 ×鈴木章一郎 ×竹縄光生 事 務 局：○小林恵美		
1. 山口委員長より挨拶			
2. 改正業務報酬基準講習会 及び 業務報酬算定方法作成について			
1) 改正業務報酬基準講習会 (DVD講習)			
・企画委員会主催講習を 2 会場で行う事となった。(会場予約済み)			
①7月5日(金) PM ユニコムプラザさがみはら(定員 192 名)			
②7月22日(月) PM 横浜市技能文化会館ホール (定員 250 名)			
・現在、国交省より委託を受け、主催：日本建築士会連合会・共催：日本建築士事務所協会連合会等で行っている説明会のDVDを使用する。			
・国交省より無料で配布されるテキストを使用。(400 部発注済)			
・受講料 1,000 円を予定。			
・5 月頃より周知を開始する。			
2) 業務報酬算定方法作成について			
現在神事協HP、会員ページ・委員会作成資料に掲載している『建築士事務所の業務報酬算定方法(初版平成 22 年 11 月 企画業務委員会作成)』を、作り直す必要が有る事から、今後検討し対応する事を確認した。			
3. 3/1 開催 バス見学会について			
1) タイムスケジュール			
8：15 横浜駅西口 横浜ビブレ前 集合			
8：30 バス乗場に移動し出発			
10：00 ～11：00 新豊洲 Brillia ランニングスタジアム見学(太陽工業(株) 喜多村淳氏による解説)			
≪車窓から新木場付近のオリンピック施設建設現場等を見学≫			
11：00 ～ 木材会館見学			
13：00 猿楽十方楼到着			
13：00 ～13：30 平井政俊氏による外観解説			
13：30 ～ 3 班に分かれ、内観見学(平井政俊氏による解説)			
※見学以外の班は ①乗泉寺 ②MONKEY CAFÉ D.K.Y ③“sarugaku” ④旧朝倉家住宅 を自由見学			
16：00 出発			
17：00 横浜駅西口 到着・解散			
2) 資料について			
・新豊洲 Brillia ランニングスタジアム 太陽工業(株)が用意。			
・猿楽十方楼 平井政俊氏が作成し、データを事務局に送付していただき印刷する。			
・猿楽十方楼周辺(自由見学) 伊藤委員が作成、データを事務局に送付していただき印刷する。(2/26 まで)			
3) 役割分担について			
・中村副委員長、伊藤委員、矢野委員を班長とし、参加者を 3 班に分ける。			
・班分けは、バスの座席によって分ける。(班長席を確保)			
4) 周知について			
・2/7 現在、17 名の申込み。			
・来週初めに瓦版に同封の開催案内が届く。			
・来週末に再メーリングし、周知する事となった。			
・賛助会にも周知する事となった。			

4. 平成 31 年度予算・事業計画について

総財務委員会より見直し要請があり、BIM 等新技術講習会の開催回数を 2 回から 3 回に増やし、経費等を減らし、修正したとの報告があった。

以上

平成 29・30 年度 第 13 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 企画委員会 議事録			
開催日時	平成 31 年 4 月 16 日 (火)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (×欠席)	担 当 副 会 長：○大和田優 委 員 長：○山口英生 副 委 員 長：○稲毛恒男 ○中村輝守 委 員：○磯昭弘 ×當木裕之 ×岩田崇 ×石渡規由 ×菅原浩太 委 員：○矢野高 ×伊藤耕人 ×鈴木章一郎 ×竹縄光生 オブザーバー：○横山尊重 参 事：○酒井弘幸 事 務 局：○小林恵美		
1. 大和田副会長から挨拶 2. 理事会・委員長会 報告 予算・委員会改編の件が主な議題。また、委員会の活動内容の報告を行った。 3. 企画委員会内専門委員会及び部会の活動内容について 1) 技術専門委員会 BELS の説明会が県央ブロックで 3 月 20 日に開催された。 今後のテーマは「地盤」となった。 今年度は委員会の方向が不透明な事から、今後の活動内容については、次期委員会で決めてもらう事となった。 2) 応急仮設住宅等検討専門委員会 3 月 28 日に完了検査があり、納品したとの報告があった。 今年度の委託の方向性を連休明けに神奈川県と話し合う予定。 3) 未来に繋げる事業専門委員会 組織改編についてを中心にやってきた。 HP リニューアルについては、総会までには「準備中」がなくなる。 退会者を減らし、横の繋がりを広げる為、同好会活動支援を計画している。 4. 3 月 1 日開催 バス見学会について (報告) 40 名で想定したが、27 名の参加に留まった。参加者に対する経費 (保険・弁当等) が圧縮され、赤字にならずに済んだ。 伊藤委員のコントロールにより見学科等が無くなり、経費軽減できた。 参加者が 27 名に留まった理由として下記が考えられる。 ・開催が 3 月で年度末業務に追われ、特に公共建築に携わる事務所員等は参加が難しかった。 ・テーマが先端技術でまだまだ特殊性の高い建築のため、一般小規模事務所は参加を見送った。 ・保険代とバス駐車場代が追加となった他、お弁当・飲料代が載って、見かけの参加費が高く感じられた。(前回 6500 円→今回 7000 円) 参加者から下記の感想があった。 ・企画が素晴らしい、楽しく勉強になった、建築への情熱を再認識した、との言葉を沢山聞いた。 ・各建物に実際に携わった方 (設計監理者等) の生の説明付きが、参加者から大変評価が高かった。 ・都内移動でスケジュールに余裕があった為、ゆっくりじっくり見て考える時間が取れた。 改善点 ・天理ビル前が使えなくなった為、集合場所を横浜ビブレ前にして有料バス停車場に移動としたが、移動距離が長い為、参加者の遅刻・欠席対応で集合場所に戻るなどして、バス発車が遅れた。 ・今回は新高島周辺 (例えば日産本社ショールーム前) を集合場所にすれば、有料停車場第を削ることが出来、天理ビル前のように集合からバスまでの移動距離をなくせる (バス運転手談) 反省点 ・先端性の高いテーマでも良いが、会員全体が興味を持てるテーマにしたほうが良い。 ・アンケートで人気にテーマを集めても、時期・会社状況等で参加不参加が決まるので、あまり意味が無かった。委員のみで議論してテーマ等を決めるやり方と差異は無いかもしれない。 ・常識の範囲内で賛助会関係者や会員関係者 (非会員・会員の客等) に枠を広げる事が必要かもしれない。(旅行業法、保険等確認要)			

5. 改正業務報酬基準講習会・改正建築基準法講習会について

下記の日程で、講習会を開催する事となった。

- ・7月5日（金）PM ユニコムプラザさがみはら
- ・7月22日（月）PM 横浜市技能文化会館ホール

受講料について

- ・各講習 会員 1,000 円 会員外 2,000 円

※収支が合えば、両方受講した場合 会員 1,500 円 会員外 3,500 円 とする。

6. 業務報酬算定方法作成について

現在神事協 HP、会員ページ・委員会作成資料に掲載している『建築士事務所の業務報酬算定方法』の作成を検討する事となった。

7. 企画委員会・傘下委員会合同の慰労会を、連休明けに6月12日・13日・14日で調整する。

以上